



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー
 コード番号 4922 URL http://www.kose.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	247,883	10.9	46,282	18.7	47,475	19.7	32,930	33.2
2018年3月期第3四半期	223,566	16.2	38,980	29.2	39,652	27.5	24,724	32.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 33,055百万円 (17.6%) 2018年3月期第3四半期 28,111百万円 (81.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	577.28	—
2018年3月期第3四半期	433.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	287,656	221,493	71.5	3,606.31
2018年3月期	270,370	198,607	68.1	3,227.07

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 205,716百万円 2018年3月期 184,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	63.00	—	85.00	148.00
2019年3月期	—	85.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	7.1	56,000	15.7	57,400	18.3	38,300	25.1	671.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）高絲化粧品有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	60,592,541株	2018年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,549,024株	2018年3月期	3,548,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	57,043,607株	2018年3月期3Q	57,043,965株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

第2四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年12月31日まで）

セグメントの名称	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	168,694	75.5	190,537	76.9	21,842	12.9
コスメタリー事業	53,091	23.7	54,997	22.2	1,906	3.6
その他	1,780	0.8	2,348	0.9	568	31.9
売上高計	223,566	100.0	247,883	100.0	24,317	10.9

区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	38,980	17.4	46,282	18.7	7,301	18.7
経常利益	39,652	17.7	47,475	19.2	7,823	19.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,724	11.1	32,930	13.3	8,205	33.2

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年12月31日まで）における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな景気回復の基調で推移したものの、世界経済の不確実性の高まりや各国における通商政策の影響など、先行きに留意すべき状況となりました。化粧品業界におきましては、2018年度の経済産業省化粧品出荷統計（1月～11月）によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済につきましては、アジアでは総じて持ち直しの動きがみられ、米国では着実な景気回復が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、今期より新たな中期経営計画「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化」をスタートさせ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、日本及びアジアでの販売が好調だった結果、売上高は前年同期比10.9%増の247,883百万円（為替の影響を除くと11.1%増）となり、同期間としては6期連続で過去最高となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は26.8%となりました。

利益につきましては、積極的な販売費の投入による増収効果に加え、原価低減や一般管理費の効率的な運用により、営業利益は46,282百万円（前年同期比18.7%増）、経常利益は47,475百万円（同19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32,930百万円（同33.2%増）となり、いずれも過去最高となりました。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、国内外の百貨店を中心に「リポソームREDキャンペーン」をグローバル展開した「コスメデコルテ」が業績を牽引したことに加え、高級化粧品を扱う㈱アルビオン、米国タルト社などが堅調に推移しました。また、プレステージ領域におきましては、国内では、薬用シワ改善クリーム「ザ リンクレス」（医薬部外品）を発売した高効能特化型ブランド「ONE BY KOSE」が好調だったほか、中価格帯の新スキンケアブランド「ルシェリ」等の育成を推進しました。海外では、重点グローバルブランドの販売が好調な韓国と中国が引き続き業績を牽引しました。また、国内外における免税チャネルの売上も高成長が継続しました。これらの結果、当事業の売上高は190,537百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は44,705百万円（同21.3%増）となりました。

コスメタリー事業につきましては、洗顔・クレンジングを中心に展開する「ソフティモ」の販促キャンペーンが好評だったコーセーコスメポート㈱が好調に推移したほか、アイカラーが牽引したセルフメイクブランド「ヴィセ」等が売上を拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は54,997百万円（同3.6%増）、営業利益は4,417百万円（同6.7%減）となりました。

アメニティ製品の販売やOEM生産などを展開するその他の事業につきましては、売上高は2,348百万円（同31.9%増）、営業利益は1,171百万円（同35.4%増）となりました。

地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	170,556	76.3	181,363	73.2	10,806	6.3
アジア	23,886	10.7	36,738	14.8	12,851	53.8
北米	27,006	12.1	27,202	11.0	195	0.7
その他	2,116	0.9	2,579	1.0	462	21.9
売上高計	223,566	100.0	247,883	100.0	24,317	10.9

<日本>

日本市場につきましては、主要な販売チャネルにおいて引き続きプラス成長となりました。特に、ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルにおいては、高付加価値ブランド「コスメデコルテ」が、スキンケア、ベースメイク、ポイントメイクなど主要カテゴリーからの新規顧客獲得に加え、インバウンド需要も引き続き増加するなど、高成長が継続しました。また、プレステージ領域及びコスメタリー事業のブランドを中心に展開するドラッグストアチャネルやGMSチャネルにおきましても、前述の「ONE BY KOSÉ」や「ヴィセ」、コーセーコスメポート㈱が展開する「ソフティモ」や「ピオリス」などが好調に推移しました。これらの結果、売上高は181,363百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

<アジア>

アジア市場につきましては、各国における既存チャネルの育成に加え、免税店やEコマースなど新販路の開拓を強化することにより、インバウンド市場との連携を図るなど、国境や販路を越えたボーダレスなお客さまづくりを推進し、事業展開しているほぼ全ての国と地域でプラス成長となりました。特に、免税チャネルの高成長が継続した韓国、ネット上でのカウンセリングを通じて「コスメデコルテ」の販売を開始した中国が引き続き好調に推移しました。これらの結果、売上高は36,738百万円（同53.8%増）となりました。

<北米>

北米市場につきましては、メイク市場における競争激化等の影響はあったものの、米国タルト社による専門店チャネル及びEコマースでの販売が堅調に推移した結果、売上高は27,202百万円（同0.7%増）となりました。

<その他>

その他の地域につきましては、米国タルト社による欧州や豪州でのEコマース等の販売が好調だった結果、売上高は2,579百万円（同21.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月31日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,637	93,134
受取手形及び売掛金	41,403	42,020
有価証券	8,274	554
商品及び製品	29,260	33,863
仕掛品	2,407	3,314
原材料及び貯蔵品	19,271	24,806
その他	2,913	3,594
貸倒引当金	△48	△85
流動資産合計	187,119	201,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,813	40,527
減価償却累計額	△20,961	△21,064
建物及び構築物（純額）	16,852	19,463
機械装置及び運搬具	16,078	16,570
減価償却累計額	△12,251	△12,351
機械装置及び運搬具（純額）	3,827	4,218
工具、器具及び備品	36,164	38,693
減価償却累計額	△30,357	△31,630
工具、器具及び備品（純額）	5,806	7,062
土地	16,555	16,560
リース資産	1,932	1,873
減価償却累計額	△1,314	△1,365
リース資産（純額）	618	508
建設仮勘定	4,351	2,697
有形固定資産合計	48,011	50,509
無形固定資産		
ソフトウェア	1,563	1,653
のれん	7,629	7,043
その他	7,190	7,338
無形固定資産合計	16,383	16,035
投資その他の資産		
投資有価証券	10,381	10,907
繰延税金資産	5,872	6,017
その他	2,850	3,231
貸倒引当金	△247	△250
投資その他の資産合計	18,856	19,906
固定資産合計	83,250	86,451
資産合計	270,370	287,656

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,534	11,074
電子記録債務	15,849	19,524
短期借入金	600	600
リース債務	227	202
未払金	13,725	8,871
未払費用	9,423	6,505
未払法人税等	7,865	4,737
未払消費税等	1,872	732
返品調整引当金	1,928	2,033
その他	1,767	3,474
流動負債合計	62,793	57,756
固定負債		
リース債務	484	468
役員退職慰労引当金	2,513	2,744
退職給付に係る負債	4,952	4,024
繰延税金負債	25	—
その他	993	1,169
固定負債合計	8,969	8,406
負債合計	71,763	66,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
利益剰余金	180,514	203,746
自己株式	△9,098	△9,102
株主資本合計	176,263	199,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,651	3,089
為替換算調整勘定	4,098	3,020
退職給付に係る調整累計額	70	114
その他の包括利益累計額合計	7,820	6,224
非支配株主持分	14,523	15,776
純資産合計	198,607	221,493
負債純資産合計	270,370	287,656

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
売上高	223,566	247,883
売上原価	59,878	63,228
売上総利益	163,688	184,655
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	13,827	15,659
販売促進費	39,647	43,905
運賃及び荷造費	8,258	10,126
給料及び手当	33,263	36,164
退職給付費用	1,437	943
法定福利費	5,167	5,423
減価償却費	2,237	2,767
その他	20,867	23,383
販売費及び一般管理費合計	124,707	138,373
営業利益	38,980	46,282
営業外収益		
受取利息	136	288
受取配当金	73	135
特許実施許諾料	33	37
有価証券償還益	2	—
為替差益	296	527
雑収入	184	333
営業外収益合計	726	1,323
営業外費用		
支払利息	4	2
支払手数料	30	11
投資事業組合運用損	—	71
雑損失	19	44
営業外費用合計	54	129
経常利益	39,652	47,475
特別利益		
固定資産売却益	1	9
投資有価証券売却益	0	2
関係会社株式売却益	—	925
事業整理益	—	※ 788
特別利益合計	2	1,725
特別損失		
固定資産処分損	79	358
投資有価証券評価損	4	12
その他	1	—
特別損失合計	85	371
税金等調整前四半期純利益	39,568	48,829
法人税、住民税及び事業税	11,815	14,026
法人税等調整額	532	142
法人税等合計	12,348	14,168
四半期純利益	27,220	34,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,495	1,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,724	32,930

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	27,220	34,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,534	△563
為替換算調整勘定	△970	△1,098
退職給付に係る調整額	326	57
その他の包括利益合計	891	△1,604
四半期包括利益	28,111	33,055
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,611	31,334
非支配株主に係る四半期包括利益	2,500	1,721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 事業整理益

当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

当社のリンメルブランドのライセンス事業につきましては、2018年10月31日を以ってCoty Inc. とのライセンス契約を終了し、これに伴い、リンメルブランドの販売活動を行ってございました連結子会社である株式会社コスメディックの清算を決議しました。契約終了に伴う受取補償金から子会社清算損を差し引いた金額を事業整理益として計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった高絲化粧品有限公司の持分をすべて譲渡したことにより、高絲化粧品有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

なお、持分譲渡終了時までの損益計算書については連結しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	168,694	53,091	221,785	1,780	223,566	—	223,566
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	336	336	458	794	△794	—
計	168,694	53,427	222,121	2,238	224,360	△794	223,566
セグメント利益	36,859	4,731	41,591	864	42,456	△3,475	38,980

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	74
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,549

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
170,556	23,886	27,006	2,116	223,566

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	190,537	54,997	245,534	2,348	247,883	—	247,883
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	585	585	547	1,132	△1,132	—
計	190,537	55,582	246,119	2,896	249,016	△1,132	247,883
セグメント利益	44,705	4,417	49,122	1,171	50,293	△4,011	46,282

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	103
各報告セグメントに配分していない全社費用	△4,115

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
181,363	36,738	27,202	2,579	247,883